

視察先2

○備前市吉永町笹目地区

・認可地縁団体による公共交通空白地有償運送

○事業概要

備前市吉永町笹目地区では、人口が減少し、高齢化率も60%近くに達しています。また、吉永町中心部方面への市営バスはあるものの、地区住民の生活圏である和気町方面へのバスはありません。

こういった状況の中で、住民の移動手段を確保して地域を存続させるために、認可地縁団体の法人格を有する笹目地区が運行主体となって、公共交通空白地有償運送の登録を受け、平成28年11月から、県と市からの補助金を受けて購入した「ささめあい号」の運行をスタートさせました。



備前市吉永町笹目地区 作長地区長



「ささめあい号」

活動報告・意見交換会

○井原市芳井町「特定非営利活動法人よしいかけはし」

・地域で立ち上げたNPOによる福祉有償運送

○事業概要

平成23年に、芳井町まちづくり協議会が実施したアンケートにより、移動手段が地域の最重要課題であることが判明しました。交通弱者と言われる人の移動手段を確保し、住み慣れた地域で安心して暮らすために、地域の有志でNPO法人を設立し、平成29年9月に福祉有償運送の登録を受け、運行をスタートさせました。

令和元年8月末現在で61名の登録者があり、月曜から金曜日まで運行しています。なお、井原市福祉基金から、車両購入に要する経費や活動資金の助成を受けています。



特定非営利活動法人よしいかけはし 早川副理事長



備前市民局では、先進地視察や、活動報告・意見交換会も行い、高齢者の外出・移動支援サービスの活動に取り組む団体や、管内市町・社会福祉協議会の生活支援コーディネーター等に御参加いただきました。



先進地視察
令和元年11月19日



活動報告・意見交換会
令和元年12月6日

先進地視察や活動報告・意見交換会においては、管内では事例がない「利用者が所有する車を利用したの移送サービス」や、道路運送法の登録を受けて行う、自家用有償旅客運送における地域住民が主体となった取組など、今後の活動の参考となる事例を取り上げました。

視察先1

○真庭市黒田地域「くらしサポート黒田」

- ・利用者が所有する車を利用したの移送サービス
- ・社協の車を借用したの買い物ツアー

○事業概要

くらしサポート黒田では、地域住民の暮らしを支えるために、平成30年2月から、移送サービスや買い物ツアー、生活支援を実施しています。

移送サービスは、車を所有するものの、運転が不安になったり、運転ができない高齢者の車を、くらしサポート黒田の登録サポーターが運転し、病院等へ高齢者を移送する活動です。

また、真庭市社会福祉協議会の10人乗りバスを借用し、真庭市中心部のスーパーへの買い物ツアーを、月2回実施しています。



くらしサポート黒田 稲田代表



視察時の様子